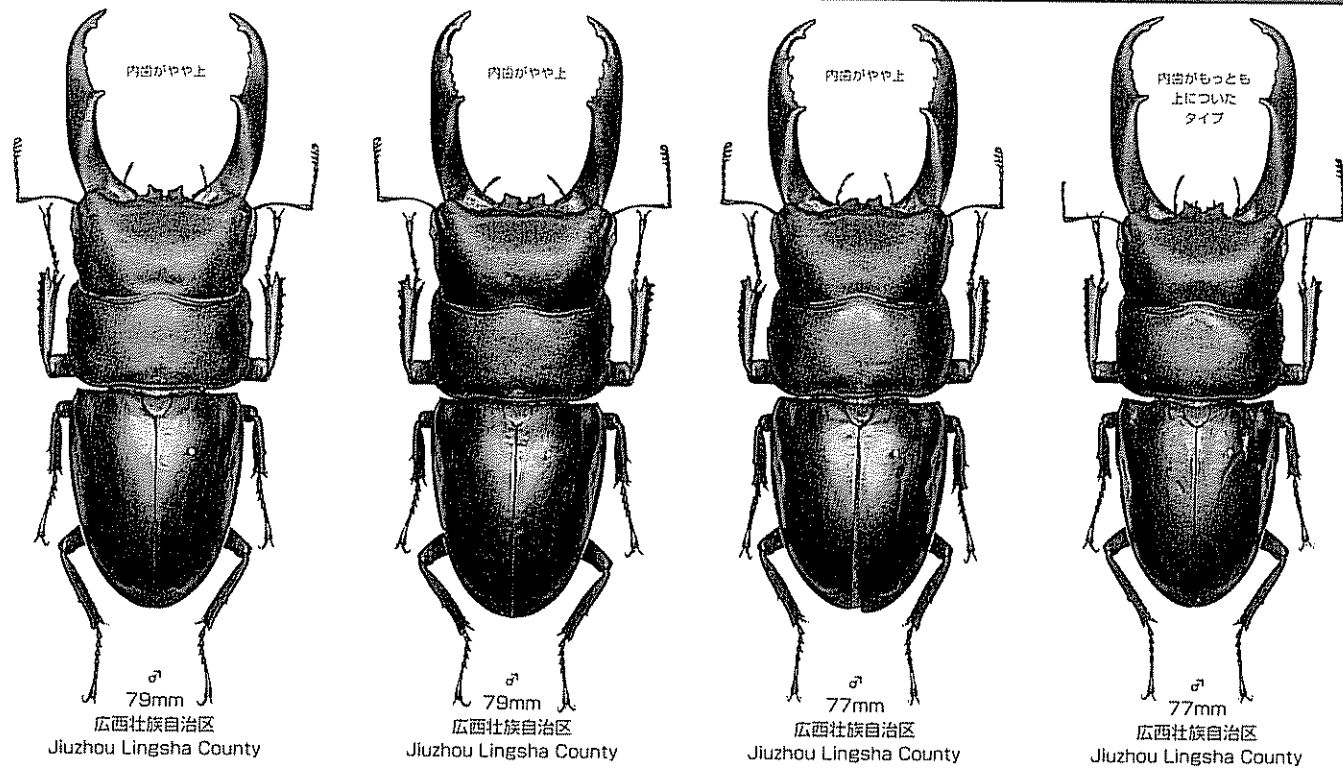


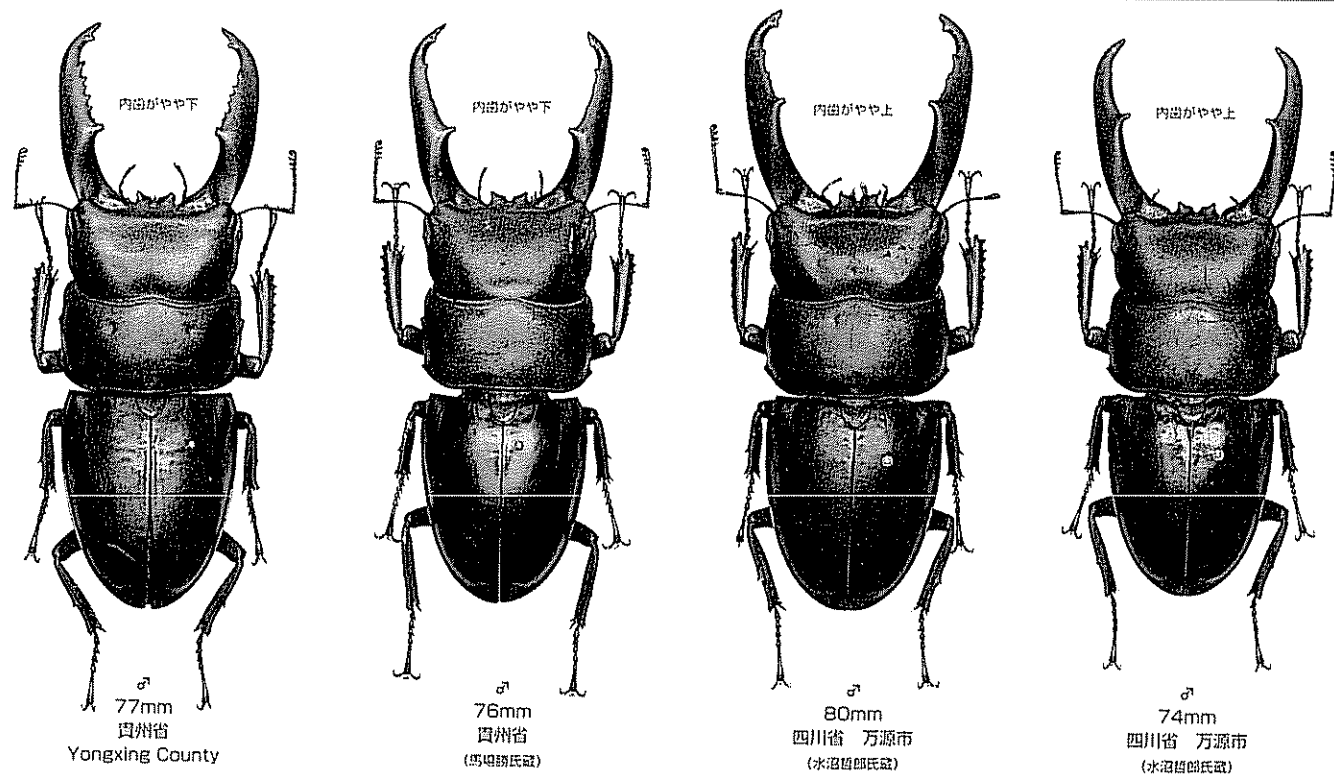
ウンナンヒラタ



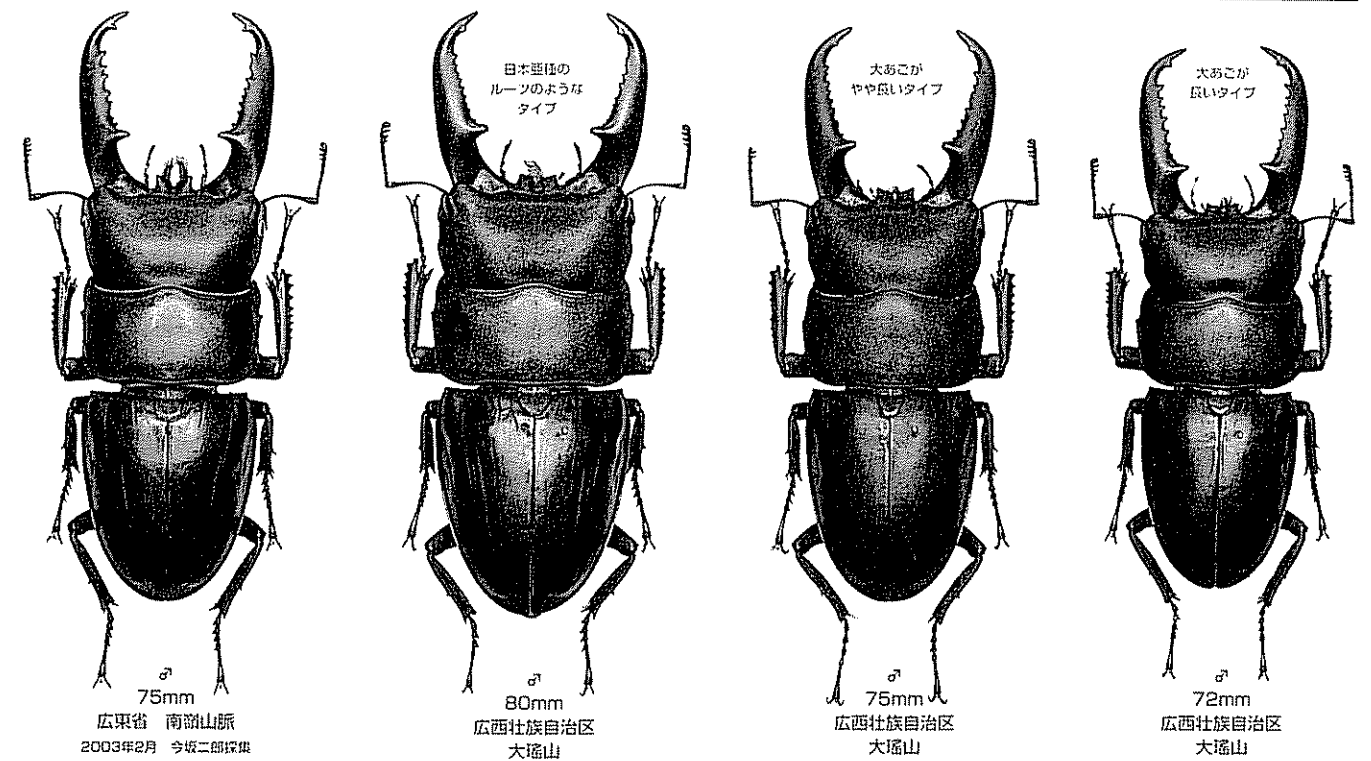
中国（広西壮族自治区・貴州省・四川省）のヒラタクワガタ（*typhoniformis* 型）

中国西部の大あごがやや長い個体群 — ニシチュウゴクヒラタの内歯が上についたようなヒラタが、1924年に Nagel 氏が雲南省から記載した *typhoniformis* という型である。「中国は広い…」と感じさせてくれる変わった雰囲気ヒラタで、原産地の名をとってウンナンヒラタと呼んでおこう。採集時の状況がわからないため、この型がニシチュウゴクヒラタのバリエーション（大あごの個体変異）なのか、あるいは特定の場所に出現するもの（地域変異）なのか、今のところ不明である。

ウンナンヒラタ



チュウゴクヒラタ



中国（広東省・広西壮族自治区・貴州省・四川省）のヒラタクワガタ

中国南部の広西壮族自治区・大瑤山のヒラタクワガタ標本は、大阪の故・北脇和光氏が集めたものが残っているが、写真のように日本本土の *pilifer* に良く似たものが出て、日本のヒラタのルーツを見るような思いがする。しかし、写真に示したように同じ大瑤山のヒラタでも明らかに大あごの長い個体もいて、大陸のものは同一の産地でも変異に富む。

ニシチュウゴクヒラタ

